



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月6日

上場会社名 株式会社ジャックス 上場取引所 東
コード番号 8584 URL <https://www.jaccs.co.jp/>
代表者 （役職名）取締役社長 （氏名）村上 亮
問合せ先責任者 （役職名）取締役常務執行役員 （氏名）中澤 辰生 TEL 03-5448-1311
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年11月28日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	97,069	1.4	13,281	△17.4	13,102	△18.6	9,712	△13.2
2025年3月期中間期	95,739	3.8	16,084	△12.7	16,099	△12.2	11,185	△9.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 7,555百万円（△45.5%） 2025年3月期中間期 13,873百万円（△27.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	271.26	270.70
2025年3月期中間期	322.15	321.19

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	3,836,854	298,954	7.6
2025年3月期	3,806,786	255,809	6.5

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 292,368百万円 2025年3月期 248,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	90.00	—	100.00	190.00
2026年3月期	—	100.00			
2026年3月期（予想）			—	100.00	200.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	191,500	0.3	20,000	△22.3	20,000	△22.4	15,500	△16.8	346.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	45,059,992株	2025年3月期	35,079,161株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	299,532株	2025年3月期	317,701株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	35,804,570株	2025年3月期中間期	34,721,954株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.6「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年11月18日 (火) に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、同日開催前に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 中間連結貸借対照表	7
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	9
中間連結損益計算書	9
中間連結包括利益計算書	10
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当社グループでは、2025年度を初年度とする中期3カ年経営計画「Do next!」をスタートさせ、当社グループの長期ビジョンである「アジアのコンシューマーファイナンスカンパニーとしてトップブランドを確立する」の実現に向けて経営基盤の再構築を図っております。本中期経営計画では、株式会社三菱UFJ銀行との資本業務提携契約に基づき、テーマを三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下、「MUFGグループ」という。）との連携拡充により「変革」と「再成長」に挑む3年間とし、3つの重点戦略の実行により、当社グループの持続的成長と企業価値の向上に取り組んでおります。

- ①MUFGグループとの連携とM&Aによる成長戦略の加速
- ②「量から質」への転換による抜本的な事業構造改革の推進
- ③ALMの高度化による財務健全性の確保と資本効率の向上

当中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）につきましては、雇用や所得環境の改善や各種政策効果を背景に、景気は緩やかな回復基調を維持している一方、米国の通商政策や物価高による個人消費への影響は引き続き不透明な状況が続いております。このようななか、国内事業では、クレジット事業において住宅関連商品や輸入車の取り扱いが堅調に推移したものの、利上げにより減速したクレジット申し込みの回復には至りませんでした。しかしながら、ペイメント事業及びファイナンス事業が堅調に推移し、取扱高が増加しました。海外事業では、ベトナムでの四輪需要の拡大や、カンボジアにおける営業体制の強化により両国の取扱高は堅調に推移しましたが、インドネシアの低迷が影響し、取扱高が減少しました。

この結果、連結取扱高は2兆9,349億24百万円（前年同中間期比2.2%増）となりました。

連結営業収益は、債権流動化による金融収益が減少した一方で、信用保証残高の積み上げ及び割賦利益繰延残高の戻し入れにより970億69百万円（前年同中間期比1.4%増）となりました。

連結営業費用は、システム関連費用の増加や、調達金利の上昇に伴う金融費用等が増加し、837億87百万円（前年同中間期比5.2%増）となりました。

以上の結果、連結経常利益は131億2百万円（前年同中間期比18.6%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は97億12百万円（前年同中間期比13.2%減）となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

「国内事業」

（クレジット事業）

ショッピングクレジットは、住宅関連商品が堅調に推移し、住宅リフォームでは営業体制の強化や国・地方自治体の支援制度に伴う需要拡大により、クレジット申し込みが拡大しました。また、太陽光発電におけるセカンダリー市場への注目が追い風となり、産業用ソーラーが堅調に推移しました。しかしながら、前年度までに実施した利上げや一部業種の取り扱いを停止した影響により取扱高が減少しました。営業収益は、割賦利益繰延残高の戻し入れにより増加しました。

オートローン、各インポーターの販売戦略と連動した施策の継続により、輸入車が堅調に推移したことに加え、利上げにより低下した中古車販売店でのシェアが回復傾向にあることも相まって取扱高が増加しました。営業収益は、割賦利益繰延残高の戻し入れにより増加しました。

この結果、当事業の取扱高は横ばいとなりましたが、営業収益が増加しました。

（ペイメント事業）

カードショッピングは、大型提携先の利用に加え、インバウンドやキャッシュレス市場の拡大により海外・国内コード決済の利用が好調に推移し、取扱高が増加しました。営業収益は、新規カード会員獲得の抑制に伴うリボ残高の積み上げ不足により減少しました。

カードキャッシングは、ローンカード会員の獲得を継続しましたが、プロパーカード会員の減少が影響し、取扱高及び営業収益が減少しました。

家賃保証は、新規提携先の取引拡大に加え、主要提携先における安定的な取引により取扱高及び営業収益が増加しました。

集金代行は、既存提携先やインサイドセールスの強化により拡大した新規提携先からの請求件数が増加し、取扱高及び営業収益が増加しました。

この結果、当事業の取扱高は増加しましたが、営業収益が減少しました。

（ファイナンス事業）

投資用マンション向け住宅ローン保証は、提携金融機関と連携した施策の実施により、取扱高及び営業収益が増加しました。

銀行個人ローン保証は、株式会社三菱UFJ銀行におけるマイカーローンの金利施策が奏功し、取扱高及び営業収益が増加しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が増加しました。

（その他の事業）

オートリースは、所有から利用への消費者意識の変化を背景に市場が拡大傾向にあるなか、前年度から取り組んでいる推進体制強化の効果が発現したことにより保有台数が堅調に拡大し、取扱高及び営業収益が増加しました。

事業資金融資は、資金需要の回復により取扱高及び営業収益が増加しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が増加しました。

以上の結果、国内事業におけるセグメント取扱高は2兆9,045億25百万円（前年同中間期比2.6%増）、セグメント営業収益は858億15百万円（前年同中間期比4.1%増）、セグメント利益は139億93百万円（前年同中間期比20.7%減）となりました。

「海外事業」

（クレジット事業）

ベトナムでは、政府による電気自動車の普及推進により四輪が堅調に推移し、取扱高が増加しました。営業収益は、未収債権の抑制を目的に商用車の取り扱いを停止したことで、営業債権残高の積み上げが不足し、減少しました。

インドネシアでは、事業構造改革の一環で、未収債権が高止まりにある四輪の取り扱いを中止したことにより、取扱高及び営業収益が減少しました。

カンボジアでは、営業エリアの継続的な拡大や遠方顧客に対する申込手続きの効率化が奏功し、取扱高及び営業収益が増加しました。

フィリピンでは、審査基準の厳格化や利上げの実施により取扱高が減少しましたが、営業収益は営業債権残高の積み上げにより増加しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が減少しました。

（ペイメント事業）

ベトナムで展開するクレジットカードは、事業構造改革の一環で新規受付の中止及び既存会員の利用を停止しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が減少しました。

（その他の事業）

ベトナムやカンボジアで展開する個人向け無担保ローンは、ベトナムでは既存顧客への対面・テレセールスでの勧誘が奏功し、取扱高が増加しましたが、営業収益は営業債権残高の積み上げ不足により減少しました。カンボジアでは、未収債権の抑制を図るため審査の厳格化を継続したことにより、取扱高及び営業収益が減少しました。

インドネシアで展開するリースは、事業構造改革の一環で新規受付を中止した影響により、取扱高及び営業収益が減少しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が減少しました。

以上の結果、海外事業におけるセグメント取扱高は303億98百万円（前年同中間期比26.5%減）、セグメント営業収益は112億18百万円（前年同中間期比14.6%減）、セグメント損失は7億21百万円（前年同中間期は16億98百万円の損失）となりました。

連結セグメント別取扱高

セグメントの 名称	(内訳)	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		前年 同中間期比 (%)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
国内	クレジット	711,213	25.1	710,768	24.5	△0.1
	ペイメント	1,466,153	51.8	1,522,220	52.4	3.8
	ファイナンス	436,478	15.4	452,207	15.6	3.6
	その他	217,277	7.7	219,328	7.5	0.9
	国内計	2,831,123	100.0	2,904,525	100.0	2.6
海外	クレジット	37,486	90.6	28,443	93.6	△24.1
	ペイメント	566	1.4	0	0.0	△99.9
	その他	3,321	8.0	1,954	6.4	△41.1
	海外計	41,374	100.0	30,398	100.0	△26.5
合計		2,872,497	—	2,934,924	—	2.2

連結セグメント別営業収益

セグメントの 名称	(内訳)	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)		前年 同中間期比 (%)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
国内	クレジット	32,748	39.7	35,371	41.2	8.0
	ペイメント	22,258	27.0	22,109	25.8	△0.7
	ファイナンス	18,883	22.9	20,498	23.9	8.6
	その他	7,120	8.7	7,267	8.5	2.1
	事業収益計	81,010	98.3	85,247	99.4	5.2
	金融収益	1,405	1.7	568	0.6	△59.5
	国内計	82,416	100.0	85,815	100.0	4.1
海外	クレジット	10,060	76.6	9,208	82.1	△8.5
	ペイメント	125	0.9	68	0.6	△45.2
	その他	2,890	22.0	1,881	16.8	△34.9
	事業収益計	13,075	99.5	11,158	99.5	△14.7
	金融収益	61	0.5	59	0.5	△3.1
	海外計	13,137	100.0	11,218	100.0	△14.6
国内・海外事業収益計		94,086	98.5	96,405	99.4	2.5
国内・海外金融収益計		1,466	1.5	628	0.6	△57.2
合計		95,553	100.0	97,034	100.0	1.5

(注) セグメント間の内部営業収益又は振替高は記載しておりません。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間の資産は、前連結会計年度に比べ300億68百万円増加し、3兆8,368億54百万円となりました。

これは、現金及び預金は減少したものの、未収入金、立替金、投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ130億76百万円減少し、3兆5,379億円となりました。

これは、債権流動化借入金等有利子負債は増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ431億45百万円増加し、2,989億54百万円となりました。

これは、資本剰余金、資本金の増加等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2025年8月7日の「2026年3月期 第1四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	174,712	115,133
割賦売掛金	3,341,923	3,344,240
リース投資資産	110,269	107,697
前払費用	6,664	7,061
立替金	26,466	41,908
未収入金	31,954	96,655
その他	41,735	45,410
貸倒引当金	△32,347	△32,785
流動資産合計	3,701,379	3,725,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,953	10,100
減価償却累計額	△6,983	△7,066
建物及び構築物 (純額)	2,969	3,033
土地	14,828	14,828
その他	13,043	13,166
減価償却累計額	△7,886	△8,005
その他 (純額)	5,157	5,161
有形固定資産合計	22,955	23,023
無形固定資産		
ソフトウェア	24,963	24,797
その他	18	17
無形固定資産合計	24,981	24,815
投資その他の資産		
投資有価証券	33,542	39,613
固定化営業債権	184	242
長期前払費用	4,110	4,218
繰延税金資産	2,221	1,968
差入保証金	1,315	1,370
退職給付に係る資産	12,461	12,699
その他	3,754	3,691
貸倒引当金	△120	△111
投資その他の資産合計	57,469	63,694
固定資産合計	105,406	111,533
資産合計	3,806,786	3,836,854

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	221,268	201,822
短期借入金	341,508	347,013
1年内償還予定の社債	74,187	92,138
1年内返済予定の長期借入金	219,745	224,023
1年内返済予定の債権流動化借入金	314,782	314,816
コマーシャル・ペーパー	402,500	405,500
未払金	3,941	4,021
未払費用	3,172	3,290
未払法人税等	5,462	5,335
預り金	79,439	77,407
前受収益	1,359	1,262
賞与引当金	3,021	3,111
ポイント引当金	2,719	2,742
債務保証損失引当金	1,110	1,159
割賦利益繰延	249,785	249,765
その他	25,541	27,035
流動負債合計	1,949,545	1,960,447
固定負債		
社債	164,592	148,159
長期借入金	807,835	791,357
債権流動化借入金	621,107	630,484
繰延税金負債	3,925	4,337
利息返還損失引当金	616	550
退職給付に係る負債	92	91
長期預り保証金	1,444	1,410
その他	1,817	1,061
固定負債合計	1,601,431	1,577,453
負債合計	3,550,976	3,537,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,138	35,680
資本剰余金	30,642	50,212
利益剰余金	175,396	181,633
自己株式	△727	△686
株主資本合計	221,450	266,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,800	21,596
繰延ヘッジ損益	30	△110
為替換算調整勘定	4,066	1,564
退職給付に係る調整累計額	2,925	2,478
その他の包括利益累計額合計	26,823	25,529
新株予約権	126	121
非支配株主持分	7,409	6,464
純資産合計	255,809	298,954
負債純資産合計	3,806,786	3,836,854

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業収益		
事業収益	94,086	96,405
金融収益		
受取利息	52	131
受取配当金	362	467
その他の金融収益	1,237	64
金融収益合計	1,652	663
営業収益合計	95,739	97,069
営業費用		
販売費及び一般管理費	67,795	68,972
金融費用		
借入金利息	10,169	12,339
コマーシャル・ペーパー利息	443	1,253
その他の金融費用	1,245	1,222
金融費用合計	11,858	14,815
営業費用合計	79,654	83,787
営業利益	16,084	13,281
営業外収益		
雑収入	19	27
営業外収益合計	19	27
営業外費用		
持分法による投資損失	—	30
株式交付費	—	171
雑損失	4	4
営業外費用合計	4	207
経常利益	16,099	13,102
特別利益		
投資有価証券売却益	494	1,002
特別利益合計	494	1,002
特別損失		
固定資産除却損	2	1
投資有価証券売却損	0	4
70周年記念行事費用	248	—
特別損失合計	250	6
税金等調整前中間純利益	16,343	14,098
法人税、住民税及び事業税	6,532	4,927
法人税等調整額	△1,115	△138
法人税等合計	5,417	4,788
中間純利益	10,925	9,310
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△259	△402
親会社株主に帰属する中間純利益	11,185	9,712

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	10,925	9,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△426	1,796
繰延ヘッジ損益	212	△121
為替換算調整勘定	3,333	△2,983
退職給付に係る調整額	△171	△445
その他の包括利益合計	2,947	△1,754
中間包括利益	13,873	7,555
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	13,560	8,418
非支配株主に係る中間包括利益	312	△862

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年9月12日付で、株式会社三菱UFJ銀行から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当中間連結会計期間において資本金が19,542百万円、資本準備金が19,542百万円増加し、当中間連結会計期間末において資本金が35,680百万円、資本剰余金が50,212百万円となっております。